地域で守る木次線

JR木次線では、平成17年の調査から約5割の利用客が減少し、現在は1日平均乗車人数200人となり、このまま減少すれば、路線の維持・存続が困難になることも予想されます。

木次線を守るためには、地域の皆さんをはじめ、地域外の皆さんにも利用いただけるよう、沿線を盛り上げていく必要があります。

「乗って」「買って」「載せて」支える取り組みを、地域の皆さんと一緒に推進することで、大切な路線を守ることができます。

■乗って守ろう

◎ご家族やグループで、木次線に乗ってみませんか?

木次線なら車でのいつもの運転とは違い、四季折々の景観を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごせます。

◎トロッコ列車に乗ってみませんか?

トロッコ列車「奥出雲おろち号」は、窓を取り払った開放感あふれる列車で、沿線の風景や3段式スイッチバックなど、家族で楽しむことができます。これまで乗る機会がなかった方も、ぜひ今年はトロッコ列車に乗って、のんびりプチ旅行を楽しんでみてはいかがでしょう。

出雲三成駅　昭和40年代

■買って守ろう

◎定期券、また新幹線・特急やくもの切符も、木次線の駅で買いましょう!

旅行や出張で、新幹線や特急やくもを利用される際に、町内の駅（出雲三成駅・出雲横田駅）で切符が購入できます。

し・か・も!木次線の沿線駅で購入された切符の売上げは、JR木次鉄道部の売り上げとなり、木次線に乗ることができなくても、路線の維持につながります。

※JR西日本が企画する「駅プラン」についても同様です。詳しくは窓口係員におたずねください。

出雲三成駅　昭和30～40年代

■載せて守ろう

◎木次線沿線で開催されるイベントのチラシに、時刻表を掲載しましょう!

地域外の皆さんに木次線に乗って会場へお越しいただけるよう、イベントのチラシに時刻表を掲載してみませんか?

ただし、時刻表を掲載する場合は、事前にJR木次鉄道部（電話0854-42-5457）へ確認が必要です。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

奥出雲町では、JR木次線の利用促進と沿線の活性化を目的として、木次線沿線自治体・商工会・観光協会等で組織する「木次線利活用推進協議会」を立ち上げ、利用促進イベントや企画列車、情報発信などを行っています。

木次線利活用推進協議会事務局　地域づくり推進課

有線 31-5262　電話 54-2524　HP http://kisuki-line.jp/

もっとつながる木次線

横田高校

横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」

3年総合コース 社会人講話

12月18日、3年総合コースの生徒が、「20年後の君たちへ」というテーマに基づき、奥出雲町で活躍しておられる4人の講師の皆様によるお話を聴く機会がありました。講師の皆様は、ご自身の経験に基づき、より良い人生を過ごしていくヒントを生徒にご教示くださいました。生徒は、講師の皆様のプレゼンテーション力に惹かれながら、メモをとっていて、自ら考えて行動し、人生を切り開いていく大切さを実感していました。

2年進学コース 東京研修 課題研究発表会

12月13日、2年進学コースの生徒が地域課題研究の発表会を行いました。地域課題研究では、生徒は自ら設定したテーマについて、地域の方々にご協力をいただきながら、調査研究を行っています。10月の東京研修では、調査研究を通して学んだことを青山学院大学で発表し、大学生の皆さんと意見交換を行いました。東京研修を終えた後、さらに地域の課題について考えを深め、クラスで発表会を行い、島根県立大学の先生にご講評をいただきました。生徒は、答えのない問題に粘り強く取り組むことの大切さを実感していました。

地域おこし協力隊の現場を訪ねて

今回紹介するのは、平成30年4月から鳥上木炭銑工場（日刀保たたら）にある鍛錬場で刀匠として活動をされている古山直樹（ふるやまなおき）隊員です。

古山隊員はどのような仕事をされていますか?

私の仕事は、刀匠で、奥出雲町で作られた玉鋼を使って、日本刀を制作し、町のPRを行う事です。

何がきっかけで刀匠になられましたか?

学生時代、剣道部の先生の日本刀を持たせてもらい、日本刀の「重量感」や「切れる」という畏（おそ）れの中に、感動を覚え、刀に魅了されました。刀匠という仕事を知り、「刀を作りたい」と憧れを抱いていましたが、結局、刀匠ではなく、福岡県で企業に務めました。その後、赴任した宮崎県に松葉國正刀匠がおられる事を知り、子どもの頃に抱いた刀匠への憧れを実現するため、松葉刀匠の鍛錬道場に通い続けて1年後に仕事を辞め、松葉一門に弟子入りをしました。

奥出雲町に来たきっかけは何ですか?

刀匠としての資格を取得した後、独立できず、企業に務めていましたが、奥出雲町が地域おこし協力隊として刀匠を募集していることを知り、刀匠として再チャレンジしたいと思い、応募したことがきっかけです。

作刀活動を通して、大切にしていることは?

たたら操業も作刀も、先人たちから受け継いだ技術で行っており、現代の私たちが開発したものではありません。受け継いだこの技術を、次世代へ伝えていく意味で「日本刀をつくる」=「日本をつくる」という気持ちで作刀に打ち込んでいます。

みんなの掲示板

自衛官候補生（男女）募集（陸上・海上・航空自衛隊）

採用と同時に陸・海・空自衛官候補生に任命されます。自衛官候補生として3か月間の教育訓練を修了した後、2等陸・海・空士に任官されます。

任用期間は、陸上自衛官は1年9箇月、海上・航空自衛官は2年9箇月を1任期として任用されますが、引き続き勤務を希望する場合は、選考により2年を任期として継続任用されます。

◆応募資格　日本国籍を有し、採用予定月の1日現在18歳以上33歳未満の者

◆試験種目　筆記試験（国語・数学・社会及び作文）・口述試験・適性検査及び身体検査

◆試験会場　陸上自衛隊出雲駐屯地

第10回
◆応募期間　1月14日（火）～30日（木）
◆試験期日　2月1日（土）

第11回
◆応募期間　2月3日（月）～3月5日（木）
◆試験期日　3月7日（土）

※但し、試験期日、会場について、追加・変更される場合があります。